

保育計画成果報告書

法人名	地球の子ども株式会社
施設名	ちゃいるどはうす
報告者（役職）	乾 泰代（ 園長 ）
住所・連絡先	静岡県静岡市駿河区小鹿 7 4 1 - 2
	☎054-368-7858
	E-mail inui-pasozaburo@iris.ocn.ne.jp

○タイトル（保育計画）

四季を通して子どもたちが健やかに成長できる環境づくりを目指して！！

○主な助成備品

ウッドデッキ

1. 保育計画策定の目的

小規模保育所ちゃいるどはうすは、自由の保障された空間の中で、子どもが自発的、意欲的に関わることができる理想的な環境の実現を大きな目標の一つとしている。しかしながら、開園当初、専用の園庭を設けることが難しく、建物の構造上空調に頼らなくては、四季を通して子どもたちがストレスなく生活できないのではないかという大きな問題と不安を抱えていた。地域や自然環境との関わりを大切にしながら、四季を通して子どもたちが、健やかに成長できるための環境作りを目指して、自由に遊べる空間を増やし、自由の保障を広げていけるように、専用の園庭スペースの確保を目的とした。

2. 具体的な実施内容

① ウッドデッキ平成 27 年 6 月末の完成

園舎に隣接していた園専用の 4 台分の駐車スペースを園専用の園庭スペースにするため、ウッドデッキを使用した改築工事を行った。園専用の駐車スペースは近隣の駐車場 4 台分を賃借して代替えた。

② ウッドデッキでの園庭スペースの実施

園庭のなかった時に外遊びの場所として、近隣の公園まで出かけていたが、学校が休みの日で人が多く集まる時などは、歩行や運動の完成されていない 0 歳児～2 歳児の外遊びの場としては、安全の保障が難しくなることが問題であったが、1 歳児、2 歳児がウッドデッキで同時に運動遊びを実施できるようになり、その時間を使って 0 歳児が 1 歳児の部屋までほふくスペースを広げて使用することができた。

③ ウッドデッキでのプールの設置の実施

それまでは、園舎横の狭い通路にプールを置いて、時間を区切りながら歳児毎に水浴び程度の活動しかすることができなかつたことが問題であったが、1歳児、2歳児がウッドデッキに設置された大きなプールで活動を実施できるようになり、同時にそれまで園舎横に設置していた狭いプールを0歳児専用プールとして使用することができた。

④ ウッドデッキでの季節の行事の実施

ハロウィンでは、可愛いらしいお化けに仮装をした子どもたちが、園内に隠れている職員を見つけてお菓子をもらうお楽しみ会で、室内だけでなく、ウッドデッキも使用して活動を実施することができた。

⑤ ウッドデッキでの美術活動の実施

ボディペインティングをはじめとした、体と絵具を使った美術活動の場として、ウッドデッキを使用することができた。

⑥ ウッドデッキでのお別れ発表会の練習

毎年行われるお別れ発表会での出し物の練習を歳児別に実施することができた。

⑦ ウッドデッキでの卒園式の写真撮影場所の実施

2歳児が連携園に移行するための卒園式である『はばたきの会』の集合記念写真の撮影を実施することができた。



3. その成果と評価

① ウッドデッキ平成27年6月末の完成

- ・完成したウッドデッキで初めて遊ぶ子どもたちは、両手をあげて天を仰ぎ、全身で開放感にあふれる喜びを表していた。
- ・保育者も、子どもたちの満ち足りた笑顔に自由の保障されたスペースを広げられたことを確信できた。

② ウッドデッキでの園庭スペース

- ・ウッドデッキは交通量の多い幹線道路に面していることで、地域住民が子どもたちの遊ぶ姿を見て、声をかけてくれるようになり、地域に受け入れられていることを感じられるようになった。
- ・外の景色を見ながら、いつでも大好きな車を目で追うことができるため、精神器官の成長が著しい時期の子どもたちにはとても良い刺激となっている。
- ・1歳児、2歳児の運動遊びでは、歳児毎の発達課題に応じた遊具（小さい滑り台・大中小のステップ台・低い凸凹平均台など）の設定をすることが出来て、公園遊びではできない活動に楽しく取り組めた。
- ・0歳児のほふくスペースが広がり、活動範囲が広がり、ストレスなく運動量を増やすことができた。

③ ウッドデッキでのプールの設置

- ・大きなプール2つ以外にも、ウォータースライダーや、スプリンクラーの設置が可能となり、本格的なプール活動が展開された。
- ・プールの片づけでは、デッキブラシや雑巾がけや洗濯などを毎日子どもと一緒にを行うことで、用具の使い方をはじめとした、日常生活の練習の場として、運動の獲得に役立った。
- ・プール終了時には、各自、スポンジを用意してボディソープで身体を洗うことで、身辺自立を促すとともに、暑い夏を爽やかに過ごすことができ、精神衛生面でもよい結果が得られた。
- ・0歳児専用の安全な水遊びのスペースが確保されたことにより、赤ちゃんが安心して活動できた。

④ ウッドデッキでの季節の行事

- ・室内だけでなくウッドデッキを使用することで子どもたちの抽象的思考の発達が広がる体験の場を提供することができた。

⑤ ウッドデッキでの美術活動

- ・バケツの中に入った絵具を使った活動が汚れを気にせず、ダイナミックに展開できた。

⑥ ウッドデッキでのお別れ発表会の練習

- ・歳児毎の発達段階に見合ったダンスの練習が日常の遊びの中で、自然に繰り返し楽しんで取り組めていたため、無理なく発表につなげることができた。

⑦ ウッドデッキでの卒園式の写真撮影

- ・ウッドデッキ側の園舎の壁に描かれた当園のシンボルマークである大きな木と歳児毎のクラス名にもなっている3羽の小鳥のイラストの前で、園全員の記念撮影を行ってから、卒園児とその保護者が見えなくなるまでウッドデッキから園全員で最後まで見送ることができた。



4. 今後の課題と展望

ウッドデッキを使用して、より一層、安全で自由の保障された環境を広げていくために、来年度は、職員を増やし、各スペースごとに人員を配置し、室内とウッドデッキを子どもが自由に行き来できるように計画中である。又、運動のための遊具を増やしたり、季節の行事として地域との交流の場を設けたりしながら、子どもたちが今まで以上にいろいろな体験を通して成長していけるための大切な場所としてウッドデッキの活用方法を広げていきたい。

以上